

ANNUAL REPORT

目次

巻頭言 1

I 国際交流センターの活動

1. 教育活動 2

- (1) 特別講演
- (2) 集中講座
- (3) 日本語研修コース・集中コース
- (4) 課外補講：日本語

2. 留学生相談・支援 4

- (1) 留学生相談
- (2) 履修相談会の実施
- (3) 学業相談会の実施
- (4) 留学生のための就職支援
- (5) 日本語能力試験等説明会
- (6) 安全講習会（自動車等の運転）

3. 留学生交流 6

- (1) センター主催行事一覧
- (2) 国際交流デー
- (3) 留学生見学旅行
- (4) 地域交流一覧
- (5) マレーシア同窓会・ジョイントセミナー

4. 国外各機関への訪問
および留学フェアへの参加 8

II 資料

1. 在学留学生状況 9

- (1) 外国人留学生受入状況
- (2) 外国人留学生宿舍状況
- (3) 民間団体奨学金受給状況

2. 国際交流センターについて 10

- (1) CALL 教室および自習室
利用状況について
- (2) 平成 23 年度に導入した
主な機器および教材

巻頭言

Globalization の Normalization

センター長 浜島昭二

国際交流センター発足から 2 年が経ち、当初手探りで始めた活動も前年の経験を踏まえて大幅あるいは小幅にレベルアップし、多くの学生、教職員にとっておなじみの光景、「技科大ライフ」の一部になってきたのではないかと思います。

学生に関わる国際交流が当センターの任務ですが、そこには二つのターゲット・グループがあります。留学生に対しては、本学にきた目的である勉学のそれなりに達成感のもてる修了に向けてさまざまな面でサポートするとともに、若い彼らの人格形成に貢献すること。そのためには、留学生であることがもたらす日本人学生とは異なる諸条件が、学生生活を送る上で利点にはなっても、できる限りハンディにならないことが必要です。彼らはすでにグローバルにキャリア形成しつつあるわけですから、私たちの仕事は言ってみれば Normalization と言えるかもしれません。

日本人学生に対しては、今の社会が求める人材の育成という課題に向けて専門教育を補完する部分で、英語力のレベルアップを目的とした講座を開設したり、身近な国際経験である留学生との交流の場を提供したりしています。いわば Globalization ということになるのでしょうか、海外留学も含め世界を視野に入れたキャリア形成を日常から始める Normalization でもあります。ただ、この部分の実績はまだまだ不十分で、アイデアとそれを実行する組織の強化が必要だと思っています。

グローバルな状態がノーマルである豊橋技術科学大学の実現に向けて今後何をどうしなければならないのか。それを考えるための反省材料および手がかりとしてこの Annual Report を発行しています。

I 国際交流センターの活動

1. 教育活動

(1) 特別講演

英語学習法セミナー「TOEIC® 対策にも活用できる効果的な英語学習法」

日時:平成24年1月20日(金)13:00～14:30

場所:A2-201 講義室

講師:福江友樹氏(株式会社アルク)

今年度は英語学習についての特別講演を実施した。本講演は主として博士前期課程の学生を対象に、モチベーションの保ち方から具体的な学習法までをアドバイスするものであり、同時に、本学で導入している e-learning 教材 ALC NetAcademy2 を大学院生にも有効に活用して英語学習に役立ててもらうことを意図したものである。

講師の福江友樹氏は、以前本学でアルク社提供の Creative Speaking コースの講師を務められたこともあり、スピーキング教授に長けておられ、スピーキング研修プログラムの開発や講師育成などにも従事しているということである。今回は博士前期課程の学生が主たる対象ということもあって、就職活動を見据え、TOEIC® テスト対策にもなる実践的英語学習法を、ご自身の経験を交えてお話しいただいた。スマートフォンを利用した英語学習法などすぐに取り入れられるものが多く、また、NetAcademy2 の効果的な利用法の実演もあり、学生には大変参考になったと思われる。

出席者は博士前期課程の学生にとどまらず、学部生や職員も多く来場していた。「カリスマ講師」の評判どおり、聴衆を巻き込んだ福江氏の講演は大盛況で、質疑応答は時間を超過するほどであった。

(2) 集中講座

| 期 間 | 内 容 | 講 師 |
|-------------|-------------------|---|
| 8月10日～8月12日 | 韓国語 ～言語と文化～ | 韓 銀暎(愛知大学非常勤講師) |
| 8月29日～8月31日 | 中級者向け TOEIC 対策 | 石黒 ひとみ(リンゲージ講師) |
| 9月26日～9月28日 | 英会話 | 鈴木 シェリー (Purple Crayon International English 代表) |
| 3月7日～3月9日 | 中級者向け TOEIC 対策 | 野澤 美恵子(英語講師/TOEIC 講師) |
| 3月12日～3月14日 | N1 レベル対象日本語能力試験対策 | 鈴木 裕子(本学非常勤講師) |

センターでは、毎年1講座12時間～15時間程度の集中講座を3回～5回開催している。この講座開始当初は、普段接する機会の少ない外国語に親しんでもらうことを目的とした。しかし、平成4年度以降は一つを授業で開講している外国語の強化目的で開講することとした。

今年度は、開講希望の多い TOEIC 対策講座を夏と春の二回開講した。また、日本語能力試験を受験する留学生の増加に伴い、学習方法に悩む学生のために、新たな試みとして N1 レベル対象の日本語能力試験対策講座を開講した。もう二つの講座は従来の方針を継承し、英会話と韓国語を開催した。

(3) 日本語研修コース・日本語集中コース

①日本語研修コース

コース概要 大学院進学を目指す国費大使館推薦の研究留学生を主な対象とし、約15週間の日本語予備教育を行う。

開講期間等 2011年度10月期<第16期> 15週間
10月5日プレイズメント・オリエンテーション、10月6日授業開始、10月11日開講式、11月29日研修旅行(名古屋城等)、2月17日日本文化研修(「お家で楽しむわらべうた」)、2月21日スピーチ発表会、2月29日修了式

コーディネーター 村松由起子・氏平明

修了者 Ousmane Barry1 (ギニア)、Raupova Ozoda (ウズベキスタン)、Andarani Pertiwi (インドネシア)、Ulhasanah Nova (インドネシア)

時間割

| | 月 Mon. | 火 Tue. | 水 Wed. | 木 Thu. | 金 Fri. |
|---------------|-----------|-----------|---------|------------|---------|
| 1 8:50-10:20 | Web学習 | Web学習 | Web学習 | Web学習 | Web学習 |
| 2 10:30-12:00 | 日本語(氏平) | 日本語(氏平) | 日本語(氏平) | 日本語(林) | 日本語(村松) |
| 3 13:00-14:30 | 日本語(氏平) | 漢字(林) | 補講日本語 | コンピュータ(桂田) | 日本語(吉村) |
| 4 14:40-16:10 | 確認テスト(氏平) | 確認テスト(氏平) | 補講日本語 | コンピュータ(桂田) | 補講文字 |

②日本語集中コース

コース概要 学内からの要望に応じ、日本語研修コースが開講されない場合にこれに準じた簡易的なコースとして開講する。なお本コースは試行的に開講したものである。

開講期間等 2011年度4月期<第2期> 15週間
4月8日授業開始、8月2日スピーチ発表会

コーディネーター 村松由起子・氏平明

受講者 Wu Xiangqin (中国)、Nur Budi Mulyono (インドネシア)、Thandar Oo (ミャンマー)

時間割

| | 月 Mon. | 火 Tue. | 水 Wed. | 木 Thu. | 金 Fri. |
|---------------|---------|---------|-----------|------------|---------|
| 1 8:50-10:20 | | | | | |
| 2 10:30-12:00 | Web学習 | 漢字(林) | 日本語(氏平) | コンピュータ(桂田) | 日本語(村松) |
| 3 13:00-14:30 | 日本語(氏平) | 日本語(氏平) | 日本語基礎(補講) | 日本語(林) | 日本語(吉村) |
| 4 14:40-16:10 | | | 日本語基礎(補講) | | 文字(補講) |

(4) 課外補講:日本語

開講期間 2011年4月~7月(前期)、10月~1月(後期)

コーディネーター 村松由起子

クラス編成及び受講者数

前期

| クラス名 | 回数/週(計) | 受講者数 |
|------|----------|------|
| 初歩1 | 11 (11h) | 17 |
| 初歩2 | 11 (11h) | 13 |
| 初歩3 | 11 (11h) | 9 |
| 文字 | 11 (11h) | 21 |

後期

| クラス名 | 回数/週(計) | 受講者数 |
|------|----------|------|
| 初歩1 | 11 (11h) | 32 |
| 初歩2 | 11 (11h) | 22 |
| 初歩3 | 11 (11h) | 8 |
| 文字 | 11 (11h) | 24 |

| | | |
|---------|--------|----|
| ビジネス日本語 | 4 (4h) | 10 |
|---------|--------|----|

時間割

前期

| 水 Wed. | 金 Fri. |
|----------------------------|----------------------------|
| 初歩2 13:30-14:30 (鈴木) | 初歩1 13:45-14:45 (石川) |
| 初歩3 14:40-15:40 (鈴木) | 文字 14:55-15:55 (石川) |

後期

| 水 Wed. | 金 Fri. |
|----------------------------|----------------------------|
| 初歩2 13:30-14:30 (鈴木) | 初歩1 13:45-14:45 (石川) |
| 初歩3 14:40-15:40 (鈴木) | 文字 14:55-15:55 (石川) |

| ビジネス日本語 | |
|---------|-------------|
| 7月6日 | 12:00~13:00 |
| 7月8日 | 14:45~15:45 |
| 7月13日 | 12:00~13:00 |
| 7月15日 | 14:45~15:45 |

2. 留学生相談・支援

(1) 留学生相談

国際交流センターは、生活指導も含めた留学生への支援を重要な柱として、教員の留学生に対する教育研究指導を側面から援助・サポートしている。留学生の相談窓口として、次のものを用意している。

1. 留学生相談担当教員による相談窓口

留学生相談室では、一般基礎（教養）科目教員1名（林 孝彦）と専門科目教員2名（桂田浩一、リム パンボイ）の相談担当教員3名の体制で相談を受け付けている。留学生が生活全般で出会う様々な質問や相談に対応するほか、修学全般の履修相談、一般教養科目、語学科目、専門科目の勉学、就職相談、進学相談など、留学生が本学で遭遇する幅広い相談を受け付けている。相談教員の1名(リム パンボイ)は、日本語、英語の他、マレー語、インドネシア語、中国語で対応している。

2. 国際交流課交流支援係による相談窓口

ビザ、奨学金、宿舍、手続き書類の提出などに関する修学上の相談を受け付けている。

3. 国際交流会館における生活相談

2名のチューターが国際交流会館に居住し、国際交流会館に住む留学生の生活一般について相談を受け付けている。

留学生相談窓口の場所：

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| 国際交流センター 2F 相談室 | 林 孝彦准教授（一般教養科目教員；男性） 内線：6866 |
| F棟-408 | 桂田浩一准教授（専門科目教員；男性） 内線：6884 |
| B棟-309 | リム パンボイ特任准教授（専門科目教員；女性）内線：6942 |
| 国際交流課交流支援係 | B棟1階 窓口⑨番 内線：6546 |
| 国際交流会館 | 長内麻紀（大学院生 博士前期課程1年次；女性） |
| 国際交流会館 | 山中大明（大学院生 博士前期課程1年次；男性） |

(2) 学業相談会の実施

学部留学生は日常生活に困らないレベルの日本語能力を有するものの、ネイティブレベルに達しているものは少ない。このため日本語で開講される講義の単位取得に苦勞する者が多い。国際交流センターではこうした学部留学生の単位取得のサポートを行うために、平成22年度から学業相談会を実施している。学業相談会では、相談教員が学部留学生の単位取得状況と学業の進捗状況を把握した上で、学業についての適切なアドバイスを行っている。また、単位の取得に困難を伴う留学生に対しては、個々の科目の補習を行うパワーチューターを配置して、単位取得のサポートを行っている。

平成22年度には1月と2月に試行的に実施していたが、平成23年度には前期3回、後期3回の計6回実施した。平成23年度の学業相談会では、延べ91人の学部留学生から相談を受け、そのうち30名の学部留学生に対して33名のパワーチューターを配置し、計48科目の単位取得のサポートを行った。

(3) 履修相談会の実施

国際交流センターでは、平成23年度から学生支援室と共催で履修相談会を開催している。履修相談会では、各系および英語コースから選ばれたチューター2～4名が留学生を含む新入生・在学生に対して科目選択のアドバイスを行った。平成23年度は前期・後期のそれぞれ開始直後（前期：4月12日～14日、後期：10月11日～14日）に開催し、前期には110人（留学生26人）、後期には42人（留学生12人）の相談者が各系のブースに訪れた。



(4) 留学生のための就職支援

留学生のための進路・就職支援の一環として、平成23年11月25日（金）18:00～19:00に、「平成23年度第1回留学生のための進路・就職ガイダンス」を実施した。また、平成24年1月25日（水）18:00～20:00に、「平成23年度第2回留学生のための進路・就職ガイダンス」を実施した。対象は、学部3年と博士前期課程1年の留学生全員（その他の留学生も出席できる。）で、担当は、国際交流センター留学生相談担当教員（林 孝彦（担当責任者）、桂田浩一、リム パンボイ）および国際交流課交流支援係。なお、学生の就職支援に関しては、学生課キャリア支援係がキャリアガイダンスや就職講座などを実施しているので、特に留学生のためのガイダンスとして差別化を図った。

第1回の内容は、「進路確認、就活の進め方・就活スケジュール、企業の採用情報、卒業生情報、資料請求・エントリー、採用試験、内定から入社まで、在留資格の変更など」であった。進路確認として実施したアンケート「留学生の進路についての調査票」から進路状況（考慮中、進学希望、就職希望）を把握し、その後の進路・就職の相談・指導に役立てた。

第2回の内容は、テーマは「留学生の先輩・卒業生からの進路・就職アドバイス」で、「人生設計から始まって、日本で就活成功への道」[三栄ハイテックス（株）] グエン アン トアン氏（ベトナム）修士課程平成23年3月修了（電気・電子工学専攻）、「私の就職活動～開始から内定GETまで～」[スタンレー電気（株）内定] ユー イエンリン氏（マレーシア）博士前期課程2年（電気・電子情報工学専攻）、「自分のやりたいこと」[オーエスジー（株）内定] アイ セイウ氏（中国）博士前期課程2年（機械工学専攻）の講演があり、それぞれの講演の後には質疑応答も行った。講演者の体験に基づいたアドバイスは実践的で貴重なものであった。その他、就活情報も提供した。

なお、留学生のための進路・就職支援としては、国際交流センター留学生相談担当教員は常に留学生の相談に乗り、個別にエントリーシートの書き方の指導や添削、模擬面接などを行い、留学生を全面的に支援している。

(5) 留学生のための日本語能力試験等説明会

留学生の就職活動支援の一環として、日本語能力試験、ビジネス日本語能力テスト等の資格試験に関する説明会を実施した。

実施日時：6月8日 12:15～12:50

場所：国際交流センター 205

担当：村松由起子（国際交流センター 日本語担当教員）



(6) 安全講習会（自動車等の運転）

本学の留学生支援の一環として、平成24年2月21日（火）に、「留学生のための交通安全講習会～日本での自動車等の運転～」を開催した。この講習会では、留学生相談担当教員が日本での自動車の運転方法、日本で車を運転するための免許証とその取得方法、自動車保険、自動車税、事故にあった場合の対処法、交通事故の例と賠償金額事例（自動車と自転車）などについて説明し、留学生の理解を深めた。



参加した約70名の留学生からは多くの質問が出るなど、交通安全への意識を新たにし、留学生が日本で安全な留学生活を送るために、重要な講習となっている。

3. 留学生交流

(1) センター主催行事

| NO. | 行事名 | 内 容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------|-------|
| 1 | 4月期外国人留学生・留学生 チューターガイダンス及び懇親会 | 新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び懇親会 | 4月4日 | 140 |
| 2 | 第4回 国際交流デー (世界のお茶会) | 日本人と留学生がさまざまな体験を通して、お互いを理解し合う。 | 7月8日 | 300 |
| 3 | オープンキャンパスイベント | 地域の方々や入学希望の学生に留学生の母国の紹介 | 8月27日 | 200 |
| 4 | 10月期外国人留学生・留学生 チューターガイダンス及び懇親会 | 新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び懇親会 | 10月4日 | 140 |
| 5 | 第5回 国際交流デー (世界の文化祭) | 日本人と留学生がさまざまな体験を通して、お互いを理解し合う。 | 11月15日 | 400 |
| 6 | 第1回留学生のための 進路就職ガイダンス | 進路確認、就活の進め方、企業採用情報、卒業生情報など | 11月25日 | 27 |
| 7 | 第2回留学生のための 進路就職ガイダンス | 在学生、卒業生からの進路・就職アドバイスなど | 1月25日 | 25 |
| 8 | 日本文化研修－おうちで楽しむ わらべうた | わらべうたの演奏、歌唱、演説、歌詞作りなど | 2月17日 | 40 |
| 9 | 留学生のための危機管理講座 | 留学生へ日本での自動車等の運転(免許・保険・事故)に関する概要説明 | 2月21日 | 74 |
| 10 | 外国人留学生見学旅行(春) | 京都(二条城、清水寺、金閣寺、映画村その他) | 3月5・6日 | 52 |
| 11 | 留学生意見交換会及び 留学生懇談会 | 留学生支援団体等と意見交換会及び懇談会 | 3月8日 | 175 |
| 12 | 第6回 国際交流デー (リサイクル活動) | リサイクル活動の実施 | 3月21日～23日・ 4月5日 | 30 |
| 合 計 | | | | 1,603 |

(2) 国際交流デー (第5回「世界の文化祭」)

～開学 35 周年・工学教育国際協力研究センター設立 10 周年記念～

国際交流センターでは、学内関係者の積極的な国際交流を行うことを目的として、年3回「国際交流デー」を実施している。

今回は、豊橋技術科学大学開学 35 周年・工学教育国際協力研究センター設立 10 周年を記念する事業の一環として、技科大ウィーク期間中の 11 月 15 日(火)に A 棟横テント下で「世界の文化祭」と題し、8 カ国(ウズベキスタン・日本(武道部)・ミャンマー・マレーシア・ベトナム・インドネシア・バングラデシュ・ラオス等)の留学生及び日本人学生がそれぞれ用意した民族舞踊・民族楽器・民俗芸能等を披露した。

当日は、肌寒い天候となったにもかかわらず、屋外に設置された会場には本学卒業留学生・在学留学生・日本人学生及び教職員 400 人をを超える参加者が集まり、各国のパフォーマンスを鑑賞しながら活気と温かみのある異文化交流が行われた。

今年度は、その他下記のテーマでも実施した。

○第 4 回

「世界のお茶会」と題して、各国のお茶を飲みながらの異文化交流。

日時:平成 23 年 7 月 8 日(金)

場所:講義棟テント下



○第 6 回

本学卒業生の不要となった生活用品でまだ使うことができるものを学内でリサイクルする「リサイクル活動」を実施。

日時:平成 24 年 3 月 21 日(水)～23 日(金)・

4 月 5 日(木)

場所:国際交流会館

(3) 留学生見学旅行

国際交流センターでは、3 月 5 日(月)6 日(火)に外国人留学生見学旅行を実施した。この見学旅行は、留学生に日本の文化、歴史における名所・旧跡、市街地等の見学、日本文化体験等を通じて日本への理解を深めてもらうことを目的として毎年 2 回(夏・春)実施してきた。

今年度からは年 1 回(3 月)・対象者を新入学生とし、48 名(日本人チューター 3 名含む)の参加があった。

世界文化遺産である京都市内の建造物の見学や、友禅染伝統文化体験等留学生の意見を取り入れ、国際交流センター教員の企画で実施した。参加者からは日本への理解が深まったとの声が多く聞かれ、有意義な旅行となった。

(4) 地域交流

① 豊橋市国際理解教育 講師派遣

| NO. | 行事名 | 派遣先/ 学校名 (豊橋市立) | 内 容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|--------------|--------------------|----------------------|--------|------|
| 1 | 外国人による国際理解教育 | 飯村小学校 | 母国紹介、サッカー、民族舞踊、ゲーム、歌 | 12月16日 | 1 |
| 2 | | 二川小学校 | 母国紹介、母国の遊びの紹介と体験 | 1月20日 | 1 |
| 3 | | 芦原小学校 | 母国紹介、母国の遊びの紹介と体験 | 1月24日 | 1 |
| 合 計 | | | | | 3 |

② 語学講師等派遣

| NO. | 行事名 | 派遣先 | 内 容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|---|-----------|---------------------------------|-------------------|------|
| 1 | マレーシアプログラム | 豊川市教育委員会 | 中学・高校生体験学習プログラムin Malaysia 2011 | 8月17日～ 24日 | 2 |
| 2 | SSH (スーパーサイエンスハイスクール)英語村講師 | 愛知県立時習館高校 | 高校生と英語で会話 | 10月15日 | 20 |
| 3 | SSH (スーパーサイエンスハイスクール)時習館高校英語口頭発表・ポスター発表に対するアドバイザー | 愛知県立時習館高校 | 英語によるポスター発表の指導 | 12月10日・ 12月17日 | 9 |
| 4 | 小学生とのコミュニケーション | 細谷小学校 | 細谷小学校生と英語の歌、ダンス等で遊ぶ | 1月18日 | 6 |
| 5 | 桜丘学園「国際体験デー」 | 桜丘学園 | 留学生母国文化紹介及び英語スキルアップセッション | 1月21日・ 2月11日 | 3 |
| 合 計 | | | | | 40 |

③ まつり等

| NO. | 行事名 | 主催団体 | 内 容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|------|
| 1 | 日中友好例会 | 豊橋ちぎりライオンズクラブ | 例会に参加し親睦交流を図る | 5月12日 | 4 |
| 2 | 豊橋ゴールデンロータリークラブ 善意フェスティバル | 豊橋善意銀行/ (豊橋 ゴールデンロータリー クラブ) | 留学生、地域高校生、車椅子の方たちとの交流会。 | 6月5日 | 6 |
| 3 | 豊橋祇園祭鑑賞会 | 豊橋市国際交流協会 | 花火鑑賞 | 7月16日 | 36 |
| 4 | 観光旅行モニターツアー | 観光庁 中部運輸局 | 留学生が観光地を訪問し、受け入れ体制や観光地に関するアドバイスをする。 | 10月5・6日 10月20日 12月7・8日 | 10 |
| 5 | 豊橋まつり「総おどり」 | 豊橋市国際交流協会 | 市民総おどり参加 | 10月15日 | 17 |
| 6 | 豊橋ライオンズクラブ 家族年末例会 | 豊橋ライオンズクラブ | 家族例会に参加し交流親睦を図る | 12月15日 | 2 |
| 7 | マレーシア人留学生との交流会 | 新城市国際交流協会/ 国際交流さくら | 国際理解ならびに国際交流を推進 | 2月26日 | 6 |
| 合 計 | | | | | 81 |

④ ホーム・ビジット等

| NO. | 行事名 | 主催団体 | 内 容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|----------------|------------|-----------------------|-----------------|------|
| 1 | 留学生との交歓会(佐久島会) | 蒲郡GIA会員三浦氏 | 佐久島での交換会。バーベキュー、釣りなど。 | 7月・9月 11月・1月 | 15 |
| 合 計 | | | | | 15 |

⑤ 施設見学等

| NO. | 行事名 | 主催団体 | 内 容 | 開催日 | 参加者数 |
|-----|-----------------------|-------------------------|-----------------------------|--------|------|
| 1 | インダストリアルツアー (デンソー) | グレーター・ナゴヤ・ イニシアチブ協議会 | デンソー本社ギャラリー・高棚工場 | 10月 5日 | 13 |
| 2 | 企業見学会 | 国際交流クラブ | うなぎパイファクトリー、 ヤマハハーモニープラザ | 3月 28日 | 16 |
| 合 計 | | | | | 29 |

(5) マレーシア同窓会・ジョイントセミナー

本学の国際化活動の一環として、海外の本学留学生同窓会を積極的に支援している。例えば、海外同窓会の広報活動や情報発信機能の強化や、本学を卒業または修了した留学生が本学に求める情報の調査などを行なっている。

平成 23 年 9 月には、本学から榎学長、国際交流センターから浜島センター長とリム特任准教授、1 系から梅本教授、2 系から澤田教授、4 系から伊津野教授がマレーシアを訪問し、USM (University Science Malaysia) にて USM-TUT ジョイントセミナーを開催した。TUT から口頭発表 3 件、ポスター発表 8 件、USM から口頭発表 3 件、ポスター発表 22 件があり、活発な質疑応答があった。

また、マレーシアのパナンとシャーアラムで、同国に在住する本学卒業生の集いを開催し、情報の収集と意見交換を行なった。その中では、TUT マレーシア同窓会を作り、1・2 年に一度、マレーシアで同窓会を定期的に開催する提案や、マレーシア留学生の情報交換や連携には、Facebook を有効に活用するなどの提案があった。マレーシアには現在、約 165 名の TUT 卒業生が在住しており、マレーシア同窓会を早期に立ち上げ活発化させることで、本学の国際化に大いに寄与するものと思われる。



4. 国外各機関への訪問および留学フェアへの参加

平成 23 年度は韓国、ベトナムの二カ国において各種機関を訪問した他、留学フェアへの参加、本学紹介イベントを行った。

| 訪問地 | 日時 | 内容 | 本学からの出席者 |
|----------------------|---------------------|---|------------------------------|
| 韓国 ソウル | 8 月 28 日 | 日韓共同理工系学部留学生プログラム事業推進フェアへの参加 | 穂積直裕 リム パンボイ |
| ベトナム ハノイ ホーチミン | 10 月 29 日 ～ 30 日 | ベトナム教育訓練省訪問 ハノイ工科大学訪問 日本留学フェアへの参加 | 三宅哲夫 岩佐精二 小柳幸次 與語貴生 |

韓国へは穂積教授、リム特任准教授が渡航し、日韓共同理工系学部留学生プログラム事業推進フェアにおいて本学の紹介を行った。ベトナムへは三宅准教授、岩佐准教授、小柳教務係長、與語留学生交流係長が渡航した。ベトナム教育訓練省を訪問してベトナムの留学生



日韓プログラム



留学フェア

政策について説明を受けた後に、ハノイ工科大学においてツィニング・プログラム大学説明会を行い、その後、日本学生支援機構 (JASSO) が主催する日本留学フェアに参加した。

Ⅱ 資料

1. 在学留学生状況

(1) 外国人留学生受入状況

| 区分 | 在籍身分状況 | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|------------|--------|----|----|-----------|----|----|----|----|----|--------------|----|----|-----|----|-----|-----|----|
| | 学部 | | | 正規生 修士 | | | 博士 | | | 非正規生 研究生等 | | | 国費 | 私費 | | 合計 | |
| | 国費 | 私費 | 自費 | 国費 | 私費 | 自費 | 国費 | 私費 | 自費 | 国費 | 私費 | 自費 | | 政府 | 自費 | | |
| ◆アジア◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 インド | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2 インドネシア | | | | | | | | | | | | | | | | | 24 |
| 3 ベトナム | | | 11 | 5 | | 1 | 2 | | | 14 | 1 | | | | 16 | 20 | |
| 4 カンボジア | | | 1 | | | 2 | | | | 3 | | | | | 4 | 6 | |
| 5 スリランカ | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | |
| 6 タイ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 7 大韓民国 | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 14 | |
| 8 中華人民共和国 | | | | 5 | 1 | | | | 5 | 1 | | | | 5 | 29 | 31 | |
| 9 ネパール | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | |
| 10 バングラデシュ | | | | 5 | | | | | | | | | | | 5 | 11 | |
| 11 マレーシア | | 29 | 2 | | 7 | | | | 5 | 3 | | | | 41 | 5 | 48 | |
| 12 ミャンマー | | | | | | | | | | | | | | | 7 | 4 | |
| 13 モンゴル | 1 | | 2 | 4 | | | | | | | | | | | 2 | 3 | |
| 14 ラオス | 1 | | 5 | | | 4 | | | | 1 | | | | | 10 | 11 | |
| ◆中南米◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 コロンビア | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | 2 | |
| 16 ブラジル | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| ◆ヨーロッパ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 ウズベキスタン | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| 18 アルバニア | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| ◆中東◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 シリア | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| ◆アフリカ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 エジプト | | | | | | | | 1 | | 2 | | | | | 2 | 3 | |
| 21 モロッコ | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 22 ジンバブエ | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| 23 ルワンダ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 小計 | 4 | 29 | 27 | 17 | 9 | 44 | 12 | 5 | 32 | 1 | 11 | 10 | 34 | 43 | 113 | 190 | |
| 合計 | | 60 | | | 70 | | | 49 | | | | | 190 | | | | |

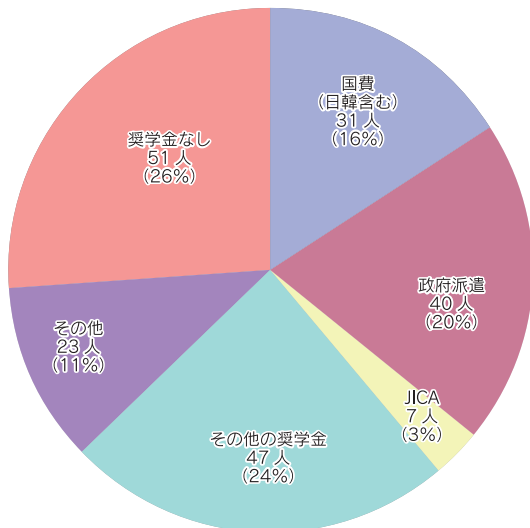
H23.5.1 現在

(2) 外国人留学生宿舍状況

| 区分 | 宿舍状況 | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|------------|--------|----|------|----|------|----|--------|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|-----|----|
| | 大学宿舍 | | | | | | 大学宿舍以外 | | | | | | 国費 | 私費 | | 合計 | |
| | 国際交流会館 | | 学生宿舎 | | 公営住宅 | | 民間アパート | | 社員寮 | | 国費 | 私費 | | 自費 | | | |
| 国費 | 私費 | 政府 | 自費 | 国費 | 私費 | 政府 | 私費 | 国費 | 私費 | 政府 | 私費 | 自費 | 政府 | 自費 | | | |
| ◆アジア◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 インド | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 2 インドネシア | 4 | | 1 | | | | | 7 | 1 | 4 | | 7 | | | | 16 | 24 |
| 3 ベトナム | 1 | | 2 | | | | | | | | 2 | 11 | | | | 19 | 20 |
| 4 カンボジア | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 4 | 6 |
| 5 スリランカ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 6 タイ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 7 大韓民国 | | | 3 | | | | 2 | | 3 | | | 6 | | | | 9 | 14 |
| 8 中華人民共和国 | | | | 1 | | | | | 1 | | | 20 | | | | 29 | 31 |
| 9 ネパール | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 10 バングラデシュ | 3 | | 2 | | | | | | | | | 2 | | | 6 | 11 | 11 |
| 11 マレーシア | | 2 | | | 1 | | | 3 | 1 | | 35 | 2 | | | 41 | 5 | 48 |
| 12 ミャンマー | 1 | | | | | | | | | | | 6 | | | | 7 | 4 |
| 13 モンゴル | | | | 1 | | | | | | 3 | | | | | | 2 | 3 |
| 14 ラオス | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 10 | 11 |
| ◆中南米◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 コロンビア | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 2 | 2 |
| 16 ブラジル | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| ◆ヨーロッパ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 ウズベキスタン | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| 18 アルバニア | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| ◆中東◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 シリア | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| ◆アフリカ◆ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 エジプト | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 2 | 3 | 3 |
| 21 モロッコ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 22 ジンバブエ | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| 23 ルワンダ | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| 小計 | 10 | 2 | 9 | 2 | 1 | 32 | 5 | 3 | 10 | 17 | 37 | 62 | 34 | 43 | 113 | 190 | |
| 合計 | | 21 | | | 35 | | 18 | | 116 | | | | 190 | | | | |

H23.5.1 現在

(3) 平成 23 年度奨学金受給状況 (H24.1.1 現在)



■その他の奨学金の内訳

| | |
|-----------------------|-----|
| 日本学生支援機構私費外国人留学生学習奨励費 | 10 |
| ロータリー米山記念奨学会 | 6 |
| NGK 留学生基金 | 4 |
| 名鉄国際育英会 | 3 |
| オーエスジー外国人留学生奨学金 | 2 |
| ドコモ留学生奨学金 | 2 |
| マブチ国際育英財団 | 2 |
| 愛知留学生 | 2 |
| 佐川留学生奨学会 | 2 |
| 服部国際奨学財団 | 2 |
| にっとくアジア留学生奨学金基金 | 1 |
| ヒロセ国際奨学財団 | 1 |
| 共立国際交流奨学財団 | 1 |
| 市原国際奨学財団 | 1 |
| 似鳥国際奨学財団 | 1 |
| 上山奨学財団 | 1 |
| 神野教育財団 | 1 |
| 西島奨学金 | 1 |
| 大幸財団 | 1 |
| 天野工業技術研究所 | 1 |
| 豊田通商留学生奨学金 | 1 |
| イノアック国際教育振興財団 | 1 |
| 合計 | 47人 |

2. 国際交流センターについて

(1) CALL 教室および自習室利用状況について

CALL 教室の授業外開放（4月～6月、9月～2月の平日：9時から19時開放）

■ CALLラボ教室 利用者数（自習及び一部授業での利用含む）

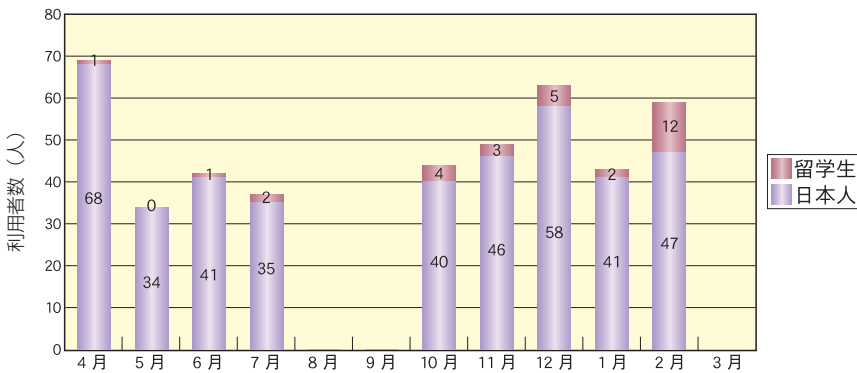
| 利用月 | 利用者数（人） | | | 利用者数（人） | |
|-----|---------|-----|-------|---------|-----|
| | 日本人 | 留学生 | | 日本人 | 留学生 |
| 4月 | 68 | 1 | 4月～3月 | 410 | 30 |
| 5月 | 34 | 0 | 月平均 | 46 | 3 |
| 6月 | 41 | 1 | 1日平均 | 2.3 | 0.2 |
| 7月 | 35 | 2 | | | |
| 8月 | | | | | |
| 9月 | | | | | |
| 10月 | 40 | 4 | | | |
| 11月 | 46 | 3 | | | |
| 12月 | 58 | 5 | | | |
| 1月 | 41 | 2 | | | |
| 2月 | 47 | 12 | | | |
| 3月 | | | | | |

※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。

※8、9、3月は閉室。

23年度は昨年度同様、授業での利用が多く、自習での利用時間がどうしても制限された。また、1階自習室のパソコンは新たに更新したが、CALL教室のパソコンはOSもXPと古く、使い勝手があまり良くないのも利用者が減少した一因かもしれない。次年度以降にはパソコンの更新を検討していきたい。

■ CALLラボ教室 利用者数



3年間の利用者数

21年度 912名
22年度 581名
23年度 440名



■ CALLラボ教室 授業での利用状況

前期

| 科目 | 教員名 | コマ数 | 学生数 | 延べ人数 | 授業回数 |
|-----------|------|-----|-----|------|------|
| 英語 I Aa | 山本綾 | 1 | 36 | 540 | 15 |
| 英語 III c | 山本綾 | 1 | 28 | 420 | 15 |
| 英語 VII b | レヴィン | 1 | 7 | 105 | 15 |
| 英語 I Ac | レヴィン | 1 | 21 | 315 | 15 |
| 英語基礎 II j | 印南 | 1 | 13 | 195 | 15 |
| 言語と文化 II | 印南 | 1 | 54 | 108 | 2 |
| 英語 I Ba | レヴィン | 1 | 36 | 540 | 15 |
| 英語 V Bf | 秋元 | 1 | 40 | 600 | 15 |
| 合計 | | 8 | 235 | 2823 | 107 |

後期

| 科目 | 教員名 | コマ数 | 学生数 | 延べ人数 | 授業回数 |
|----------|------|-----|-----|------|------|
| 英語 II Aa | 山本綾 | 1 | 38 | 570 | 15 |
| 英語 IV c | 田村 | 1 | 23 | 345 | 15 |
| 言語と文化 IV | 印南 | 1 | 12 | 180 | 15 |
| 英語 II Ac | レヴィン | 1 | 19 | 285 | 15 |
| 日本の文化 II | 村松 | 1 | 9 | 135 | 15 |
| 日本の社会 II | 村松 | 1 | 4 | 60 | 15 |
| 英語 II Bc | 印南 | 1 | 25 | 375 | 15 |
| 英語 VI Bf | 秋元 | 1 | 12 | 180 | 15 |
| 合計 | | 8 | 142 | 2130 | 120 |

平成6年度のCALL設置当初に導入したLLシステムのメンテナンスを継続していくことが難しくなったため、デジタル式LLシステムへの更新を行った。学習者音声の一斉録音や一斉回収、音声教材の作成が容易となったことにより、授業において様々な活用方法が可能となった。



| 総延べ人数 | 総実数 |
|-------|-----|
| 4953 | 377 |

自習室の利用時間（平日の午前9時から午後10時まで）

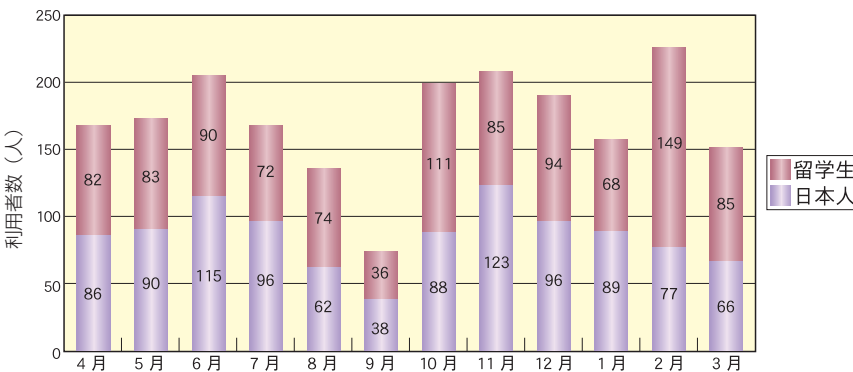
■自習室 利用者数

| 利用月 | 利用者数（人） | | 利用者数（人） | | | |
|-----|---------|-----|---------|-------|-------|-----|
| | 日本人 | 留学生 | 日本人 | 留学生 | | |
| 4月 | 86 | 82 | 年間合計 | 1,026 | 1,029 | |
| 5月 | 90 | 83 | | 月平均 | 86 | 86 |
| 6月 | 115 | 90 | | 1日平均 | 4.3 | 4.3 |
| 7月 | 96 | 72 | | | | |
| 8月 | 62 | 74 | | | | |
| 9月 | 38 | 36 | | | | |
| 10月 | 88 | 111 | | | | |
| 11月 | 123 | 85 | | | | |
| 12月 | 96 | 94 | | | | |
| 1月 | 89 | 68 | | | | |
| 2月 | 77 | 149 | | | | |
| 3月 | 66 | 85 | | | | |

※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。

昨年度にパソコン全台の更新、Office2010およびレーザープリンター1台を導入した。やや利用者数が減少したものの、ほぼ同様の利用者数であった。

■自習室 利用者数



3年間の利用者数
21年度 1886名
22年度 2268名
23年度 2055名

(2) 平成23年度に導入した主な機器及び教材

※教材は全て自習室に配架してあります。

< 機器 >

202 (CALL) 教室

- LL システム AdiLL-500 1式
- 書画カメラ エルモ L-12 1台

< 教材 >

オンライン教材

- NetAcademy2 PowerWords コースプラス

DVD

- 英語（映画）
「グリーン シーズン 1&2」「ジュリー & ジュリア」
「サード・ウォッチ セカンドシーズン」
「シングルマン」「ソーシャル・ネットワーク」
「小さな村の小さなダンサー」「トイストーリー 3」
「バーレスク」「ビバリーヒルズ・チワワ」
「パイレーツ・オブ・カリビアン 4 生命の泉」
「ハリー・ポッターと死の秘宝 Part 1&2」

●日本語（映画）

- 「悪人」「告白」「最後の忠臣蔵」
「ダーリンは外国人」「武士の家計簿」

●日本文化

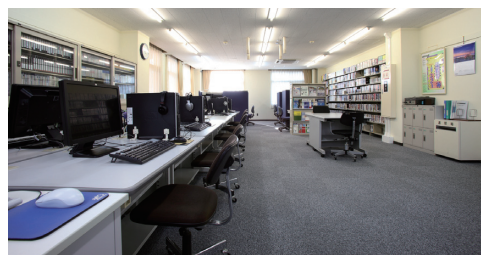
- トラッドジャパン Vol. 1～6
Make Japan Series 2 浴衣の着方
Make Japan Series 4 折り紙の折り方
Make Japan Series 7 風呂敷の包み方

テキスト

- 日本語教材
新完全マスター 語彙 日本語能力試験 N1、N2
新完全マスター 文法 日本語能力試験 N1、N2
新完全マスター 読解 日本語能力試験 N1、N2
日本語能力試験 漢字ハンドブック
BJTビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集

CD

- 英語教材
新TOEICテストBEYOND990 超上級問題+プロの極意
TOEICテスト公式プラクティス リスニング編
- 日本語教材
日本語中級J301 ー基礎から中級へー
日本語中級J501 ー中級から上級へー
「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN1 聴解
「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN2 聴解
「日本語能力試験」対策 日本語総まとめN3 聴解
BJTビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集
BJTビジネス日本語能力テスト スコアアップ模擬テスト





国際交流デー（世界の文化祭）



外国人見学旅行



外国人見学旅行



英会話講座



特別講演



春期 TOEIC 対策講座

お知らせ

オンライン英語学習教材 NetAcademy2 の PowerWords コースを導入しました。このコースでは、レベル診断テストで単語力の判定（12レベル）ができ、個々の力にあったレベル別学習が可能です。単なる暗記ではなく、ディクテーションやシャドーイングをしながら単語を覚えることができます。大いにご利用下さい。

平成 23 年度 国際交流センタースタッフ名簿

| | | |
|---------|-------|------------|
| センター長 | 教 授 | 浜島昭二 |
| センター | 准 教 授 | 桂田浩一 |
| センター | 准 教 授 | 田村真奈美 |
| センター | 准 教 授 | 林 孝彦 |
| センター | 准 教 授 | 村松由起子 |
| センター | 特任准教授 | リム パンボイ |
| センター | 助 手 | 鈴木聖子 |
| 担 当 事 務 | | 国際交流課交流支援係 |

編集後記

国際交流センター Annual Report 第2号を発刊いたしました。2010年4月の発足から2年目の本センターの活動を広く学内外にお知らせし、本学の国際交流関連活動に対する関係各位のご理解を深め、学内には全学挙げての協力体制の整備・改善に貢献することを、学外に向けては関係諸機関、関係者の皆様との連携における基礎情報となることを目的としています。

この第2号では、本センターの活動の上で、前年度に実施した企画の向上及び定着を図ったことを、また、新企画の導入を図ったことをご紹介します。私たちにとってはまだまだ満足できるものではありませんが、国際交流及び国際理解の促進のために今後も改善に努め、さらに充実したものにしていきたいとセンター・スタッフ一同考えております。各方面からのご意見、ご批判をお寄せいただければありがたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、本センター HPにも電子版(pdf)をカラーで掲載しておりますので、併せてご覧いただければ幸いです。
(編集責任：林 孝彦)



国立大学法人
豊橋技術科学大学 国際交流センター
Annual Report 第2号(平成23年度版) 平成24(2012)年10月1日発行

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
電話(0532) 44-6546 Fax(0532) 44-6557
e-mail koushien@office.tut.ac.jp
ホームページ <http://www.cir.tut.ac.jp/>